



2020年3月16日

各 位

会 社 名 天馬株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤野 兼人
(コード：7958、東証第一部)
問合せ先 取締役財務経理部長 須藤 隆志
(TEL. 03-3598-5515)

(訂正・数値データ訂正)

「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年11月8日に発表いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には___を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

東

上場会社名 天馬株式会社 上場取引所
 コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 兼人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 須藤 隆志 TEL 03-3598-5515
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,901	6.5	1,592	221.6	1,734	116.9	1,437	182.6
2019年3月期第2四半期	40,266	8.3	495	△56.4	799	△52.9	509	△60.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 807百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △791百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第2四半期	円 銭 59.56	円 銭 —
2019年3月期第2四半期	21.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2020年3月期第2四半期	百万円 93,601	百万円 74,057	% 79.1	円 銭 3,069.29
2019年3月期	91,961	74,730	81.3	3,097.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 74,057百万円 2019年3月期 74,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	20.00	円 銭 —	60.00	80.00
2020年3月期	—	40.00			
2020年3月期(予想)			—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	6.2	3,000	27.7	3,200	2.4	2,500	11.0	103.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	26,813,026株	2019年3月期	27,813,026株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	2,684,747株	2019年3月期	3,684,549株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	24,128,426株	2019年3月期2Q	24,129,102株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）における世界経済は、米国での良好な雇用・所得環境を背景とした堅調な企業業績が牽引し緩やかな拡大傾向が続きましたが、米中貿易摩擦の長期化・深刻化による景気減速、英国のEU離脱問題、地政学的リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況が続いております。

日本経済は、個人消費は緩やかな回復基調が持続しましたが、消費増税の影響もあり消費者の低価格志向は根強く、また、中国を始めとする海外の景気減速を受けて今後の経済への影響が懸念される状況となりました。

このような状況の中、当社グループは第2次中期経営計画の経営戦略である、「①要素技術である射出成形技術と金型等周辺技術の深耕」、「②グローバル戦略の推進」、「③国内自社製品分野の採算性改革」、「④製造工程における自動化推進」、「⑤海外拠点の人材育成強化」に注力し、特に、需要が旺盛な東南アジアを中心に設備投資を行うことによりグローバル戦略を推進してまいりました。

この結果、売上高は42,901百万円（前年同期比106.5%）となり、営業利益は1,592百万円（前年同期比321.6%）、経常利益は1,734百万円（前年同期比216.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,437百万円（前年同期比282.6%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、当社人気シリーズを「不透明ホワイト」で統一したカラー企画「MONO color selection」の導入や新シリーズ「大きく開くコンテナー」のアイテム追加等により売上が増加しました。また、工業品合成樹脂製品分野の受注につきましては、概ね計画通りに推移しました。利益面につきましては、物流コストの増加等に対処するため、製品構成の見直しや物流の最適化等の施策を着実に実施したことにより大幅増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,587百万円（前年同期比99.4%）となり、セグメント利益（営業利益）は416百万円（前年同期比646.9%）となりました。

（中国）

工業品合成樹脂製品分野において、取引先の生産が東南アジアへシフトする状況が続くなか、天馬精密注塑（深圳）有限公司を中心に新規受注の獲得等により売上が伸長しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、引き続き2拠点体制での生産・販売活動を行いました。EC販売が伸び悩み売上が微減となりました。利益面につきましては、売上の増加、稼働の向上及び生産活動の効率化により増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、12,378百万円（前年同期比114.3%）となり、セグメント利益（営業利益）は634百万円（前年同期比197.2%）となりました。

（東南アジア）

工業品合成樹脂製品分野において、引き続き旺盛な東南アジアでの需要を確実に捉え、ベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD. 及びタイのTENMA (THAILAND) CO., LTD. で売上が伸長し、インドネシアのPT. TENMA INDONESIAにおいても車両関連の受注が堅調に推移しました。利益面につきましては、前期に発生していた立上げに伴う先行費用を、売上の増加と改善活動の継続により着実に回収し、前年同期比で大きく増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、18,936百万円（前年同期比106.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は1,025百万円（前年同期比168.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,640百万円増加し、93,601百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,660百万円、現金及び預金が967百万円、それぞれ減少しましたが、国際財務報告基準を適用している海外子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を適用したことにより、使用権資産が3,953百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,313百万円増加し、19,544百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,263百万円減少しましたが、固定負債のリース債務が3,688百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて673百万円減少し、74,057百万円となりました。これは、自己株式の消却等により資本剰余金が1,451百万円減少し、控除項目である自己株式が1,451百万円減少したこと、及び為替換算調整勘定が586百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結業績は、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に対し利益面について上回りました。詳細につきましては、本日(2019年11月8日)別途公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、米中貿易摩擦や地政学的リスクなど先行き予断を許さない状況であるため、現時点におきましては、2019年5月10日に公表した予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,011,614	30,044,291
受取手形及び売掛金	17,437,062	15,777,310
商品及び製品	3,125,209	2,666,641
仕掛品	628,217	541,624
原材料及び貯蔵品	3,820,686	3,887,758
その他	1,516,635	1,843,857
貸倒引当金	△2,906	△1,936
流動資産合計	57,536,517	54,759,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,327,840	12,176,261
機械装置及び運搬具(純額)	10,525,109	10,453,945
使用権資産	—	3,953,371
その他	4,893,223	3,586,055
有形固定資産合計	25,746,172	30,169,633
無形固定資産	3,096,443	3,007,387
投資その他の資産		
投資有価証券	3,800,413	3,901,514
退職給付に係る資産	1,234,743	1,250,935
繰延税金資産	37,538	56,220
その他	515,790	462,217
貸倒引当金	△6,734	△6,566
投資その他の資産合計	5,581,750	5,664,319
固定資産合計	34,424,365	38,841,338
資産合計	91,960,882	93,600,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,095,711	8,832,379
未払法人税等	325,524	322,009
賞与引当金	855,978	830,601
租税関連費用引当金	148,001	145,926
その他	3,878,707	3,825,673
流動負債合計	15,303,921	13,956,589
固定負債		
役員株式給付引当金	60,280	79,163
退職給付に係る負債	353,762	339,467
リース債務	—	3,687,652
資産除去債務	204,908	203,176
繰延税金負債	1,051,407	1,021,425
長期未払金	256,695	256,695
固定負債合計	1,927,052	5,587,579
負債合計	17,230,973	19,544,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,982,736	17,531,556
利益剰余金	<u>39,241,810</u>	<u>39,198,952</u>
自己株式	△5,405,075	△3,954,279
株主資本合計	<u>72,044,821</u>	<u>72,001,579</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	895,356	886,619
為替換算調整勘定	<u>1,385,740</u>	<u>799,594</u>
退職給付に係る調整累計額	403,924	368,853
その他の包括利益累計額合計	<u>2,685,020</u>	<u>2,055,066</u>
非支配株主持分	68	71
純資産合計	<u>74,729,910</u>	<u>74,056,715</u>
負債純資産合計	<u>91,960,882</u>	<u>93,600,883</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	40,266,233	42,900,709
売上原価	34,185,249	35,631,076
売上総利益	6,080,983	7,269,633
販売費及び一般管理費	5,585,826	5,677,444
営業利益	495,157	1,592,189
営業外収益		
受取利息	74,700	79,738
受取配当金	67,695	66,209
持分法による投資利益	—	12,311
投資有価証券売却益	178,430	—
その他	56,230	63,073
営業外収益合計	377,055	221,332
営業外費用		
支払利息	—	14,818
売上割引	50,913	43,421
為替差損	17,608	20,659
その他	4,368	1,042
営業外費用合計	72,888	79,939
経常利益	799,323	1,733,582
特別利益		
固定資産売却益	11,868	113,023
特別利益合計	11,868	113,023
特別損失		
固定資産売却損	8,695	7,910
固定資産除却損	48,374	41,026
特別損失合計	57,069	48,935
税金等調整前四半期純利益	754,122	1,797,670
法人税等	245,568	360,656
四半期純利益	508,554	1,437,013
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	508,559	1,437,011

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	508,554	1,437,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,867	△8,737
為替換算調整勘定	△1,316,781	△586,146
退職給付に係る調整額	△21,923	△35,071
その他の包括利益合計	△1,299,837	△629,954
四半期包括利益	△791,282	807,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△791,272	807,057
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2020年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に
関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告され
ました。当社としては、現在、当該調査結果について検証を行っておりますが、今後速やかに関係機関と連携して
その是正措置に取り組んでいく所存です。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、
関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困
難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。また、海外子会社の所在地国においても現地におい
て類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、
四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2019年2月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施い
たしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,451,180千円減少し
ております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会
計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以
下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計
方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「使用権資産」が3,953,371千円増加し、流動負債の「そ
の他」が159,228千円及び固定負債の「リース債務」が3,687,652千円増加しております。当第2四半期連結累計期間
の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は27,960千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,653,455	10,833,234	17,779,544	40,266,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,495	117,320	56	165,871
計	11,701,949	10,950,554	17,779,600	40,432,103
セグメント利益	64,336	<u>321,428</u>	606,748	<u>992,512</u>

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>992,512</u>
セグメント間取引消去	△11,202
全社費用(注)	△486,153
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>495,157</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,587,000	12,377,614	18,936,096	42,900,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,801	78,882	81	126,763
計	11,634,800	12,456,496	18,936,177	43,027,473
セグメント利益	416,200	<u>633,696</u>	1,025,073	<u>2,074,968</u>

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>2,074,968</u>
セグメント間取引消去	11,582
全社費用(注)	△494,361
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>1,592,189</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。